

平成28年度

# 事業報告

平成28年4月 1日から

平成29年3月31日まで

公益財団法人 太田記念美術館

## I 公益目的事業

### 1. 浮世絵に関する展覧会の企画および開催

#### 1) 企画展示

太田記念美術館において下記のとおり展覧会を開催した。開館日数260日、特別展1回、企画展7回。年間入館者数は、当初の目標である48,500名に対し、35,280名多い83,780名(予算対比172%)。昭和55年の開館以来、最多の年間入場者数記録は、ギメ東洋美術館所蔵浮世絵名品展(展覧会別入場者数最多記録の47,396名を動員)が開催された平成18年度の71,829名であったが、その記録を大幅に更新した。

平成28年度	展覧会名	会期	開館日数	入館者数(人)				
				有料	無料	総計	1日平均	うち小中生
企画展	歌川国貞 －和の暮らし、和の着こなし。	4/ 1 ～ 4/24	21	5,089	318	5,407	257	199
企画展	歌川広重 － 東海道五十三次 と富士三十六景	前期 4/29 ～ 5/26 後期 6/ 1 ～ 6/26	47	17,874	808	18,682	397	532
企画展	北斎漫画 － 森羅万象のスケッチ	7/ 1 ～ 7/28	24	7,559	512	8,071	336	324
企画展	怖い浮世絵	8/ 2 ～ 8/28	24	12,042	1,076	13,118	547	954
特別展	国芳ヒーローズ － 水滸伝豪傑勢揃	前期 9/ 3 ～ 9/27 後期 10/ 1 ～ 10/30	47	14,410	1,098	15,508	330	176
企画展	生誕150年記念 水野年方 － 芳年の後継者	11/ 4 ～ 12/11	33	4,545	210	4,755	144	82
企画展	お笑い江戸名所 － 歌川広景の全貌	1/ 5 ～ 1/29	22	6,313	232	6,545	298	106
企画展	江戸の絶景 － 雪月花	前期 2/ 3 ～ 2/26 後期 3/ 3 ～ 3/26	42	11,224	470	11,694	278	214
合計			260	79,056	4,724	83,780	322	2,587

入館料 企画展：一般 700円、大高生500円、中学生以下無料  
特別展：一般1000円、大高生700円、中学生以下無料

### 2. 浮世絵その他の美術品の収集、保存

#### 1) 美術品の購入

収蔵品の体系的、通史的なバランス、展示計画を考慮の上、版画を109点購入した。

#### 2) 所蔵品の修復

今年度は所蔵品の修復は行わなかった。

#### 3) 収蔵品の保存

①防虫防菌のため、収蔵庫の燻蒸作業を行った(平成28年12月)。

- ②美術品目録と美術品現物との照合を行い、全ての美術品について合致していることを確認できた。
- ③浮世絵版画は光に弱く、展示により退色が進むため、作品の展示期間を厳正に管理した。また、温湿度管理、照度管理も厳格に行い、作品保護に努めた。

### 3. 浮世絵美術ならびに江戸文化の啓蒙普及活動

#### 1) 講座等の開催

##### ① 下記の講座を開催した。

##### ア) 江戸文化講座

浮世絵にとどまらず、江戸時代全般へ視点を広げ、さまざまな分野の専門家から江戸の文化を学ぶという趣旨の下、下記の連続講座(全3回)を開催した。

受講料: 全3回5,000円(パスポート会員3,000円)、受講料に展覧会入場料含む。

(敬称略、肩書きは開催当時)

#### ◇第1回 広重の風景画—写実と虚構

	開催日	演題・講師	受講者数
第一講	5月7日(土)	保永堂版「東海道五拾三次之内」 岡山大学准教授 佐々木 守俊	47名
第二講	5月14日(土)	「六十余州名所図会」 中外産業(株)美術担当、川崎・砂子の里資料館理事 小池 満紀子	45名
第三講	5月21日(土)	「名所江戸百景」 サントリー美術館学芸員 池田 英美	45名

#### ◇第2回 落語と浮世絵で楽しむ江戸文化

講師：落語家 落語芸術協会所属 雷門 小助六

	開催日	演題	受講者数
第一講	7月2日(土)	「江戸の怪談噺① 化け物」	48名
第二講	7月16日(土)	「江戸の怪談噺② 長屋の怪談」	48名
第三講	7月23日(土)	「江戸の怪談噺③ 幽霊」	47名

#### ◇第3回 浮世絵随談《浮世絵基礎講座》

講師：Ukiyo-e Adviser、東京工芸大学大学院非常勤講師、国際浮世絵学会常任理事 新藤 茂

	開催日	演題	受講者数
第一講	3月4日(土)	「浮世絵のできるまで～江戸と現代の違い～」	48名
第二講	3月11日(土)	「近代以降の〈浮世絵都市伝説〉を検証しよう！」	48名
第三講	3月18日(土)	「講座まとめ」	48名

#### イ) 夏休み子ども講座

小中学生とその保護者を対象に、下記の講座を開催した。参加費は無料。

開催日	演題・内容	参加者数
8月20日(土)	夏休み子ども講座「浮世絵をつくってみよう」 ワークショップ参加者が、摺り師指導の下、実際に浮世絵の摺りを体験した。 協力：公益財団法人アダチ伝統木版画技術保存財団	17組 34名

ウ) 特別講座

◇「歌川国貞一和の暮らし、和の着こなし。」展に関連して、下記の特別講座を開催した。受講料は無料。

(敬称略、肩書きは開催当時)

開催日	演題・講師	受講者数
4月16日(土)	「江戸の着こなしウソ・ホント」 江戸漫画家 ねこしみず美濃	50名

◇若手の浮世絵研究者の育成を目的として、下記の特別講座を開催した。受講料は無料。

(敬称略、肩書きは開催当時)

開催日	演題・講師	受講者数
1月21日(土)	「北斎の弟子、昇亭北寿ーその画業と風景版画について」 実践女子大学大学院博士課程 塚本 園子	33名
2月18日(土)	「錦絵の色」 静岡市東海道広重美術館学芸員 大和 あすか	53名

エ) 学芸員によるスライドトーク

展示作品をより深く理解し、浮世絵を身近に感じてもらうことを目的として、担当学芸員によるスライドトークを下記のとおり開催した。参加費は無料。

展覧会名	開催回数	受講者数
歌川国貞一和の暮らし、和の着こなし。	3回	182名
歌川広重ー東海道五十三次と富士三十六景	8回	719名
北斎漫画ー森羅万象のスケッチ	3回	251名
怖い浮世絵	6回	499名
生誕150年記念 水野年方ー芳年の後継者	6回	161名
お笑い江戸名所ー歌川広景の全貌	4回	361名
江戸の絶景ー雪月花	8回	442名
合計	38回	2615名

② 日曜映写会の開催

企画展会期中の日曜日に浮世絵の歴史、伝統文化を紹介する映像資料の無料映写会を開催した。

上映内容 『浮世絵 江戸文化の精華』(制作:太田記念美術館) 他  
年間上映回数 70回  
観覧者総数 1,631名

2) 青少年への教育普及活動

青少年への教育普及活動の一環として、美術鑑賞の機会を幅広く提供するため、中学生以下の美術館入場料を引き続き無料とした。また、教育機関の美術鑑賞教育に協力する等、浮世絵美術の教育普及に努めた。

3) 年間パスポート制度

来館者へのサービス向上および浮世絵美術の普及を目指し、「太田記念美術館年間パスポート」制度を引き続き実施した。年会費6,000円。

平成28年度会員数は444名であった。

会員証提示により、有効期間内の展覧会期中、何度でも入館することができるほか、絵はがき等のオリジナルミュージアムグッズおよび有料講座受講料の会員割引、特別展毎に招待券を2枚贈呈、展覧会・催事案内送付等の特典を提供している。

#### 4) 館外協力

##### ① 教育機関等への協力

青少年に対する浮世絵美術の啓蒙・教育を目的として、下記の教育機関の校外学習を受け入れ、学芸員が対応した。

実施日	教育機関名	内容	人数
4月21日(木)	宮城東向陽台中学校	調べ学習への対応	5名
4月21日(木)	弘前市立第二中学校	調べ学習への対応	5名
6月25日(土)	青山学院大学	学芸員の仕事について説明	17名
8月6日(土)	東洋大学	展示解説(「怖い浮世絵」展)	32名

##### ② 他機関への協力

美術品の貸出を下記のとおり行った。

貸出先	展覧会名	会期	貸出作品・点数
那珂川町馬頭広重美術館	月百姿展 —大蘇芳年とその時代—	H28. 7. 2～ 9.11	版画 23点
サントリー美術館 姫路市立美術館 細見美術館	(巡回展) 鈴木其一 —江戸琳派の旗手	H28. 9.10～10.30 H28.11.12～12.25 H29. 1. 3～ 2.19	扇 20点
山梨県立博物館	葡萄と葡萄酒	H28.10. 8～11.28	版画 1点
渋谷区立松涛美術館	月一夜を彩る清けき光	H28.10. 8～11.20	版画 4点
城西国際大学水田美術館	北斎の弟子 昇亭北寿 —洋風風景画の展開	H28.11. 5～12. 3	版画 8点

##### ③ 調査研究依頼への協力

収蔵品の特別観覧の申請に対し、下記のとおり4件の研究に協力した。

(敬称略)

観覧日	観覧者	調査内容
4月13日(水)	(公財)墨田区文化振興財団 (株)NHKエンタープライズ 他 計6名	葛飾北斎他 肉筆画4点
4月27日(水)	朝井まかて(小説家) (株)新潮社 2名	葛飾応為 肉筆画1点
2月21日(火)	(株)NHKエンタープライズ 他 計4名	葛飾応為 肉筆画1点
3月2日(木)	浮世絵木版画彫摺技術保存協会 計7名	喜多川歌麿他 版画2点

##### 5) 生涯学習活動への対応

生涯学習センター等の民間組織、団体見学者等に対して学芸員が下記のとおり浮世絵の概要、展示解説等を行った。

展覧会名	人数
歌川国貞－和の暮らし、和の着こなし。	1団体 17名
生誕150年記念 水野年方－芳年の後継者	1団体 18名
江戸の絶景－雪月花	2団体 32名
合計	4団体 67名

## 6) 広報活動

### ① マスメディア

- ・下記展覧会において記者内覧会を開催した。

「国芳ヒーローズ－水滸伝豪傑勢揃」展

「歌川広重－東海道五十三次と富士三十六景」展

「怖い浮世絵」展

- ・特別展「国芳ヒーローズ－水滸伝豪傑勢揃」展において、美術関係者を招待し、特別内覧会を開催した。
- ・展覧会ごとにプレスリリースを作成し、マスコミ各社へ送付した。
- ・浮世絵関心者層の増加、美術館の認知度向上および展覧会のPRを目的とし、新聞、テレビ番組、雑誌等の取材協力を積極的に行った。主な協力内容は下記のとおり。

掲載・放送日	媒体	内容
4月16日(土)	テレビ東京 美の巨人たち	作品撮影協力 葛飾北斎「富嶽三十六景 山下白雨」
5月24日(火)	NHK Eテレ 趣味どきっ!	「旅したい!おいしい浮世絵」 第8回「上方の清酒」作品撮影協力
6月30日(木)	東京新聞 朝刊	「親子でぶらり 学べるスポット」欄にて美術館および「北斎漫画 －森羅万象のスケッチ」展紹介記事掲載
8月5日号	週刊朝日	「怖い浮世絵」展紹介記事掲載(カラー見開きページ)
11月23日(水)	NHK総合テレビ ドキュメンタリー	ロスト北斎 The Lost Hokusai「幻の巨大絵に挑む男たち」 作品撮影協力
1月19日(木)	産経新聞 文化欄	「お笑い江戸名所－歌川広景の全貌」展紹介記事掲載
1月22日(日)	日本経済新聞 朝刊	「美の美 名橋奇橋 広重と北斎(上)」欄 取材協力
2月12日(日)	NHK Eテレ 新日曜美術館アートシーン	「江戸の絶景－雪月花」展を紹介
2月13日(月)	毎日新聞 夕刊	「アート小路」欄 「江戸の絶景－雪月花」展紹介記事掲載

- ・美術館の周知および入館者増加を図るため、「歌川広重－東海道五十三次と富士三十六景」展と「国芳ヒーローズ－水滸伝豪傑勢揃」展について朝日新聞夕刊に広告を各1回掲出した。また、京王線沿線の駅構内に「怖い浮世絵」展、「国芳ヒーローズ」展、「生誕150年記念 水野年方－芳年の後継者」展、「お笑い江戸名所－歌川広景の全貌」展のポスターを掲出した。
- ・写真資料の提供を希望するテレビ番組、美術関連書籍、雑誌等に対してその利用目的等を確認の上、貸出を行い、江戸文化、浮世絵美術の普及に努めた。
- ・葛飾応為の生涯を描いた浅井まかて氏の小説『眩(くらら)』の単行本発売(平成28年3月)に伴う、書籍の広告、ブックレビュー番組、雑誌記事等に対して、単行本表紙カバー装画に採用されている当館所蔵の応為代表作「吉原格子先之図」の画像提供等、広報協力をした。

## ② 印刷物の製作・配布

- ・平成28年度展示案内を館内にて配布した。
- ・各展覧会のポスター・チラシおよび江戸文化講座、夏休み子ども講座のチラシを製作し、館内にて掲示・配布するとともに、美術館、博物館、教育機関、公共機関等への配布を行い、展覧会、催事の周知に努めた。
- ・第33回浮世絵研究助成の募集要項チラシ(日本語／英語)を作成し、館内にて掲示・配布するとともに、内外の美術館、博物館、教育機関、公共機関等へチラシ配布を行い周知に努めた。

## ③ ウェブサイト、ソーシャルメディアの運用

- ・平成28年3月に日本語版、英語版ともに全面リニューアルを行った新ウェブサイトにて、館案内、展覧会、講座等の情報を展開し、年間を通して随時情報の更新を行った。新サイトはパソコン、モバイル端末等、様々なデバイスでの閲覧に対応しているため、利用者の利便性が格段に向上し、強力な美術館広報ツールとなっている。
- ・ロコミによる情報の拡散を狙い、Twitterを活用して展覧会情報、催事等、美術館ウェブサイトと相互に連携した情報発信を積極的に発信することにより、集客力の向上および若年層への認知度向上に努めた。  
Twitterフォロワー数は平成29年3月31日現在94,612名であり、一年間で6万人以上のフォロワーが増加した。

## 7) 他館との連携

- ① 「歌川国貞－和の暮らし、和の着こなし。」展において、Bunkamura ザ・ミュージアムにて開催の「ボストン美術館所蔵 俺たちの国芳 わたしの国貞」展(平成28年3月19日～6月5日)と、ポスターの相互掲出、チラシの設置等、広報協力を行った。
- ② 「歌川広重－東海道五十三次と富士三十六景」展において、サントリー美術館にて開催の「原安三郎コレクション 広重ビビッド」展(平成28年4月29日～6月12日)と入館料の相互割引、ポスターの相互掲出、チラシの設置等、広報協力を行った。

## 8) 地域との連携

- ① JR渋谷駅、恵比寿駅、原宿駅を結ぶエリアの文化施設連携事業「あ・ら・かるちゃー」に今年度も参加し、館内にて紹介冊子を配布するとともに、入場料の相互割引に協力した。また、広報担当者が運営会議等に出席し、他館との情報交換を行った。
- ② 東京都が行う外国人旅行者向け観光事業「ウェルカムカード」に引き続き参加し、施設割引特典付ウェルカムカード持参の外国人観光客に対して入場料割引を行った。
- ③ 東京地下鉄株式会社、東京都交通局の行う観光客向けサービス「ちかどく」に引き続き参加し、対象乗車券の提示により入場料割引を行った。
- ④ 「北斎漫画－森羅万象のスケッチ」展会期中、展示室2Fにパソコンを設置し、東京デザイン専門学校アニメーション科(渋谷区千駄ヶ谷)の学生が授業の一環で制作した『北斎漫画』のアニメーション作品を展示した。

9) ミュージアムグッズ等の制作・販売

- ① 来館の記念となり、来館者が商品購入を通じて美術に親しみ、関心を深めるためのミュージアムグッズ等を制作、販売した。また、復刻浮世絵版画、開催展覧会に関連したグッズ、浮世絵関連書籍等を受託販売した。

当館のミュージアムショップは美術館入館受付と兼ねているため、限られたスペースの中で来館者のニーズに沿うべく、販売商品を考慮のうえ選定し、充実を図った。

今年度に制作した太田記念美術館オリジナルのミュージアムグッズは下記のとおり。

・絵はがき 30種

通年販売：19種、「歌川広重－東海道五十三次と富士三十六景」展：2種

「怖い浮世絵」展：3種、「国芳ヒーローズ」展：4種、「お笑い江戸名所－歌川広景の全貌」展：2種

・クリアファイル 4種

- ② 当館発行の展覧会図録を、東京国立博物館ミュージアムショップ、芸大美術館ミュージアムショップにて引き続き委託販売した。

10) その他入館者サービス

- ① 各展覧会毎に作品タイトル、主だった展示解説について引き続き和英表記を行い、英語版作品リストを作成した。また、英語対応の可能な事務職員が常駐し、外国人観光客の受け入れ態勢の充実に努めた。

- ② 特別展「国芳ヒーローズ－水滸伝豪傑勢揃」展において、会期中2回目以降の来館者に対し、リピーター向け入館割引を実施した。

4. 浮世絵研究者の育成および助成

- ① 内外の新進浮世絵研究者育成のため、第33回浮世絵研究助成を公募し、平成29年2月2日、応募13編全てを選考委員会で審査した結果、次の研究テーマ2編を選定した。

選考委員は、竹内誠氏(東京都江戸東京博物館名誉館長)、河野元昭氏(京都美術工芸大学学長)、北原進氏(立正大学名誉教授)、及川茂氏(日本女子大学名誉教授)、大久保純一氏(国立歴史民俗博物館教授)の5名。選考委員の肩書きは選考会当時のもの。

入選者	入選研究テーマ	助成金
兼松 藍子	国安・国丸・国直の浮世絵制作について －初代豊国落款作品と関連して－	600,000円
コルタ・イオアン・ポール	歌川派からでた浮世絵師たちが与えた1880年以降の日本 版画の復活現象への多大な貢献に関して	400,000円

- ② 平成29年3月刊行の『太田記念美術館紀要 浮世絵研究 第7号』に平成26年度第31回浮世絵研究助成入選者である佐藤知乃氏、藤井史果氏の、助成による研究成果に基づいた論文の寄稿を受け、掲載した。

- ③ 浮世絵研究者の育成を目的として、研究成果発表の機会を提供することにより、研究活動の支援ならびに研究者相互の交流を図るため、若手研究者2名の講演会を開催した。講演会詳細については3頁「3. 浮世絵美術ならびに江戸文化の啓蒙普及活動」のうち、特別講座の項に記載。



## 5. 浮世絵等の資料収集・整備、調査研究および出版

### 1) 作品の調査研究

- ① 展覧会開催のため収蔵品の調査研究を行った。また、特別展開催に向けて他の美術館、博物館、ならびに個人所蔵の関連作品の情報収集を行うとともに調査研究ならびに出品交渉を行った。
- ② 展覧会毎に、来館者の鑑賞体験の充実を支援するための解説パネルの原稿を執筆した。

### 2) 資料・図書の充実

- ① 収蔵品の調査研究、図録製作のため、写真撮影を行った。
- ② 作品管理の簡便化を図るため、主要収蔵品についてデジタルデータ化を進めた。
- ③ 展覧会開催および調査研究に必要な図書資料等を購入した。
- ④ 新収蔵品について作品情報データベース、美術品目録、作品カードの整備を行った。

### 3) 展覧会図録等の刊行

- ① 以下の展覧会の開催にあわせ、図録を刊行し、当館学芸員の研究論文を掲載した。
  - ・「国芳ヒーローズー水滸伝豪傑勢揃」展  
日野原 健司 「国芳ヒーローズ～国芳が描く水滸伝の豪傑たち」
- ② 『太田記念美術館紀要 浮世絵研究 第7号』を刊行し、当館学芸員の研究論文を掲載した。
  - 日野原 健司 「水野年方の画業～浮世絵版画の制作を中心に」
  - 渡邊 晃 「俳優水滸伝豪傑一百八人之一個」について」
- ③ 以下の書籍の監修、執筆を行った。
  - ・『江戸の悪』  
監修:太田記念美術館 執筆:渡邊晃 発行:株式会社青幻舎(平成28年6月)
  - ・『怖い浮世絵』  
監修:太田記念美術館 執筆:日野原健司、渡邊晃 発行:株式会社青幻舎(平成28年8月)
  - ・『戦争と浮世絵』  
監修:太田記念美術館 執筆:日野原健司 発行:株式会社洋泉社(平成28年8月)
  - ・『かわいい浮世絵』  
監修:太田記念美術館 執筆:日野原健司 発行:株式会社東京美術(平成29年1月)

## 6. 美術館の運営

### 1) 美術館改修工事

昨年度に引き続き、老朽化した設備を対象に改修工事を行った。主な工事内容は下記のとおり。  
排水本管および美術館外構部床タイル張替工事、美術館正面シャッター更新工事、外看板改修工事、展示室・収蔵庫ハロンガスボンベ更新工事、図書室内棚増設工事、外灯他電気工事 他

### 2) 施設の整備

- ① 来館者が安全、快適に過ごせるよう、適切な保全管理に努めた。
- ② 平成28年10月、空調システム性能点検作業を行った。
- ③ 平成28年12月、上記点検作業の結果を受け、空調システムの部品交換、分解薬品洗浄作業等の改修工事を行った。
- ④ 平成29年1月、排煙設備改修工事を行った。

### 3) 内閣府による立入検査

平成28年12月22日、行政庁である内閣府による公益財団法人移行後初めての立入検査を受けた。検査の講評は、事業の実施状況、法人運営、財務・会計の全てにわたり適正に行われており、「指摘事項なし」であった。

### 4) その他

「生誕290年記念 勝川春章－北斎誕生の系譜」展(H28年2月2日～3月27日)が、一般財団法人日本アート評価保存協会が主催する2016年度第4回秀逸企画賞を受賞した。

## II 収益事業(美術館建物の一部を店舗として賃貸する事業)

美術館建物の地下の一部を、てぬぐい専門店である株式会社かまわぬに賃貸した。

### III 理事会・評議員会等の開催

平成28年6月9日	平成28年度第1回理事会	
開催場所	南国酒家 原宿店	
決議事項	平成27年度事業報告および収支決算の承認の件 評議員の候補者承認の件 諸規程等の承認の件 評議員会開催の件	原案通り可決 原案通り可決 原案通り可決 原案通り可決
報告事項	評議員の異動の報告、代表理事の職務執行状況の報告	
出席等	定足数5名、出席7名、欠席2名、監事出席2名	
平成28年6月25日	平成28年度第1回評議員会(決議の省略)	
決議事項	平成27年度事業報告および収支決算の承認の件 評議員の補充選任の件	書面決議 書面決議
平成29年3月10日	平成28年度第2回理事会	
開催場所	南国酒家 原宿店	
決議事項	平成29年度事業計画および収支予算承認の件	原案通り可決
報告事項	代表理事の職務執行状況の報告	
出席等	定足数5名、出席7名、欠席2名、監事出席2名	

### IV 官公庁への届出等

平成28年5月19日	内閣府へ変更の届出(評議員の退任)を電子申請
平成28年6月26日	内閣府へ事業報告等の提出(平成27年度)を電子申請
平成28年7月15日	内閣府へ変更の届出(評議員の就任)を電子申請
平成29年3月24日	内閣府へ事業計画書等の提出(平成29年度)を電子申請

## 平成28年度事業報告の附属明細書について

平成28年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成29年6月

公益財団法人 太田記念美術館